愛國婦人會機關

愛國婦人

每月十日廿五日發行

（定價）一枚參錢五厘 一ヶ月分七錢 三ヶ月貳拾壹錢 半ヶ年分四拾貳錢 壹ヶ年分八拾四錢 金圓無遲送料郵券代用（壹錢又は五厘切手）一割增
廣告料五號活字一行四拾錢

發行所 東京市麴町區下二番町三十番地 大日本女學會內 愛國婦人發行所
發行兼印刷人 山澤俊夫
編輯人 手島益雄

電話番町壹千三百三十番

社説

女子も道理に强かれ

女子の柔順溫和なるは、もとより其本分なり。決して傲慢疎暴なるべからず。然れども、わが國の女子は、やゝもすれば善からぬ事に强くして、善き事には存外に弱し。例へば假に其夫たり、親たる者が、過ちて若し、不義の利を得んとし、又は、得たる時に於いて、妻たり女たる者が、斷じてこれを諫止し、若し聞かれざる時は、己れ、ひとりのみにても、能く清廉を守りて、不義の金圓は、一錢たりとも、自ら使用せず、號泣して固くこれを拒絶するが如き、又は、己れ、慈善公共のためにとて、自ら身の用度を節しつゝも、多少の金錢を貯蓄し、之を彼れに送らんとするに「入らぬ事なり」「餘計の世話なり」などの言を以て、若し其長上に退けられんとする時、わが同胞姉妹、果して能くこれを諫爭し、天晴、己れ善事を遂行し得て、且又、他をしても、亦其善事を幇助せるの令名を得しむるを得る者、能く幾ばく人かある。これに反して、無智の婦人は、やゝもすれば、己れが我儘を遂行せんとし、若し、其長上の訓戒制止するに當りては、忽ちに道理を壞亂し、狂暴の態を示し、甚しきは、死を決するの狀を以て、他を脅迫する者さへありと聞く。いと淺間しき限りならずや。こゝに於てか、古聖は巳む無くも、「女子と小人とは養ひ難しとす」とさへに歎ぜしむるに至れり。故に余等は、日本の女子は、ようせずば、善人弱くして、不善人强しとはいふなり。自今以後の女子には、兎もあれ、敎育ある者多し。かくの如き心配も、漸次少なきに至るなるべしと雖ども、多少の敎育あり。思慮あるものも、女子は、やゝもすれば、情の爲に理を蔽まさるること無きにあらず、而して、遂に不道に陷るの悲境を見る事多し。能くこゝに意を注すること細にして、善には强からん事を欲し、惡には弱からんことを欲すべし。其れぞまことの勇ある人とは云はめ。

（香雲女史）

◎軍艦淺間航海記事　其三　（禁轉載）

相談役　海軍少佐子爵　小笠原長生

兩艦が橫濱を出帆して後、始めて英國の貴婦人達と交際を結んだのは、マルタ島に着した時である。御承知でもあらうが、マルタ島と云ふのはシヽリイ島の南にある一小島に過ぎぬのであるが、要路に當ッて居るので、古來常に歐洲諸强國の競爭點となッて、其占領は直ちに地中海に於ける海軍力を代表すると云ふ程大切な場所で御座ります。であるから英國が之を己のものとなして以來も、地中海に於ける海軍の根據地となして、七十艘からの有力な艦隊は此島に屯して、毎に露・佛・獨等の諸强國を恐れしめて居るので、從ッて海軍將校等の家族も澤山參ッて居ります。此處に我艦隊が着した所非常な歡迎を受けて、接待委員長は海軍大佐をして居らるゝバッテンブルグ親王殿下で、毎日我淺間に來て居られて、我伊集院司令官が一寸市街を散歩さるゝと云ふやうな時でも、馬車に同乘さるゝと云ふ有樣であッて、將校の奥樣方も毎日大勢艦を見物に來ましたし、我々も上陸すると遊びに參りましたが、此の奥樣方が主唱者となッて、兵士の爲の宏大な倶樂部が出來て居ります。尤も日本でも此の間始めて橫須賀に水兵の倶樂部が設けられて、なか〳〵盛であるから、貴女方も彼の邊に御出張の節は是非御一覽を願ひたい、必ず喜んでお迎へ申すに相違ない。願くは貴婦人方の御助力を得て續々此の倶樂部を各軍港要港等に起したいので、實に兵員の風規を正す唯一の方法である。英國などでは、到る處に倶樂部があッて、それが概ね婦人の力で成立して居る。其奥樣方は非常に活潑で、自ら帆を操ッて續々船を見物に來る、が然し決してお轉婆ではない、家內に入ッて樣子を見ると、如何にも謹んで夫に事へ、自分が先に立ッて食物等の事を指揮して夫や客に出し、少しも高ぶるなどと云ふ事はない。また凡て家庭を司ッて居るが、頗る嚴格で自然男の客が來て主人と對話をする時にも、例ば醜業婦の

（會員武村耕靄女史筆）

居る場所の名さへも口に出して云ひ得ぬ程で、是は皆主婦の人格が致す所である。日本でも武士道の嚴しかッた昔時は、矢張斯の如くであッたと聞きました、一例を擧げると、或る武士の家に客が來た時、何かの話しの中に吉原と云ふ言語が這入ッた。すると其妻君は、客がかゝる卑しき言を憚らず云ッたのは、自分に武士の妻たる資格が無いからである、實に良人に申譯がないと云ッて、自害したとの事で、如何にもゆかしい話してある。此の話を或る英人に爲た所が、非常に感歎して感涙を催した程である。然し今日の日本紳士の家庭は如何なものであるか、私は多く云ふに忍びませんが、決して絶望はしない。と云ふのは古の婦人も今の婦人も、人種に違ひは無い、寧ろ今の婦人の方が多くの權利を持たれて居るのであるから、婦人社會の御決心さへつけば、昔時の武家の如き家庭を造ることは容易な事と思はれる。日英同盟も出來た今日、願くは彼れに恥ぢぬ眞の紳士の家庭を示してやりたいもので御座ります。

◎

晴天鶴　評議員　中山幸子

晴れ渡りきらめく空にかそへても
　かきりもあらぬ鶴ぞ舞ひける

折りにふれて

ことあらばいざたちいでむ武士の
　心のこまをひとつにはして

元旦

いつるひもあけてけふよりあらたまる
　都もひなもいはふひと〳〵

年の初めを祝ひて　福岡　會員　村島常子

大君をいはひまつりて又さらに
　さしたつけふをことほきにけり

愛國婦人會の隆盛を賀して

風にいたみ雨にぬれつゝ梅の花
　かをりゆかしきときはきにけり

奥村刀自の歌を見て

ふたつみつほゝゑみにける梅の花
　君まちえてや香に匂ふらむ

愛國婦人會の爲に入營する軍人の心も安からむと思ひて　靜岡　會員　三浦貞子

つるきつゝとる身ならねど勇ましく
　いて立つ君かこゝろくまるゝ

偶感　神奈川　會員　笹子可年子

世にいてしかひやなからんますらをの
　國につくせるこゝろくまずば

新年海

年々に御軍船の數そひて
　海靜かにも年そ立ちける

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

寄書

感情の教育

評議員　鳩山春子

本篇は、此程中込なる佛教婦人會に於て、鳩山夫人がものせられたる演說の大要なり。有益の文字なれば、請ひえて茲にかゝげつ。

人間は感情の動物でありまして、貧富賢愚の差別なく、十中の九迄は感情が其行動を支配致します。されば感情と申すものは、如何に人間一己の爲にも一社會の爲にも一國の爲にも重大なる影響を及ぼすかと申す事は、何人も認識する所でございます。

實に人間の成功及び失敗と云ふことは、其智識の狀態如何に依るよりも、寧ろ感情の發達如何によりて成敗の岐るゝ所と考へます。而して此感情の教育は誰でございませう。人間を生み人間を育つる母其人の大切なる義務であります。

感情の教育は智識の教育よりも一層大切なるものなるが、又一層難かしきものでありまして、容易に成功するものでありません。

されば智識に富める人も、感情の教育十分ならぬ時は、正當ならざる場合、正當ならざる目的の爲に、忿怒同情等の感情を發せします。而て感情が盛に起りますると、自然に腦髓の中心に激動が起り、遂に身躰の全部が此感情を以て充たされ、非常に危險なる場合に及ぶ事があります。されば感情の教育は誰にも必要でありますが、智者又は富者は殊に感情の教育を非常に必要と致します。そは是等の人は、一たび不正なる劣等なる感情に支配さるゝ時は、其影響する害毒が實に重大なる故であります。之と同時に感情を教育しまして、智者及び富者の怒の念も、惡、不正、壓制等に向ての憤慨となり、之を救濟する爲に奮勵するに至らば、人類の進歩如何でありませう。殊に同情の度量の廣ひと、同情の性質の優美なる事は、即ち文明人が野蠻人と異る所でありますから、此點に於て感化を與ふる事は、如何に公共の福祉を增すとでありませう。

されば人の母たるものは、其感情の發達に關し、其方法を理解し置く事は最も必要であります、即ち如何にして、よく感情を教育し、よく練習するかの方法を研究するとが必要であります。

子供の感情を教育し練習するに、消極的に總て唯譴責し懲罰し訓戒するを以て、惡しき感情を打消さんとするは、其方法の得たるものとは考へません。植物を養成するには、たゞ其枝を切り、惡い所を摘み去るを以て、其全きを期する事は出來ません、即ち適當の肥料滋養を與へなければなりません。何をか子供の感情を教育し練習するに、積極的の方法即ち適當なる肥料滋養と致しませう。他なし常に實例模範を與へ、之に倣へと云ふ方法を用ゐるとでございます。

例へば子供に、戰場に向ては忠勇を奮ひ、國のため君のために身命を惜まず力を盡すべしと、數回之を訓戒するよりも、楠正成其他の忠勇なる實例を示せば、直に忠勇の感情を發起させます。吾國の軍人が忠勇なるは、此實例を示す日本外史などは、餘程與つて力あるものと私は考へます。徒らに善行をせよと訓戒し、理窟づめになすよりは、道德の最も高き模範を示し、之に依り適當なる感情を發達せしむるに如くはありません。されば古來の人物のよき點を示し、之に依て德行を勵ますも一方法でありますが、ジーヂワシントンが「歎ずべきは人傑には幾分の缺點なきは稀なり」と申されし如く、人傑を崇拜するまでに至る時は、遂に其弱點をも眞似する患があります。依て私は人間以上とも云はるゝ所の、即ち聖の聖たる釋迦、キリスト等の實例を示し、其遺されし教訓を理解せしむる事が、實に最もよき實例教育と考へます。

釋迦の慈悲、キリストの博愛、孔子の仁と言はるゝも、皆なこれ基く所は同しく救世の目的にして、同情の度量の廣いと、同情の性質の優美なることを、自然に會得するとが出來ます。斯る模範に依り感情を教育練習されし人は、必ず義務に忠實に、公共の福祉の爲に熱心になりまして、其爲には自己を犧牲にすると申す如き高尚の考を起しませう。又左樣あるべき筈であります。後世宗派の爭とか、敵視とか申す如き狹き考は、救世のため其身を犧牲にせられたる釋迦、キリストの廣大なる慈悲博愛の精神にあらざる事を、私は確く信して疑ひません。

◎

◎歐米女子教育の現況（承前）

文學士　下田次郎

那威に參りますと、那威でも瑞典式の躰操を遣つて居ります。其他スロイドと云つて一種の手工があり、是れが學校に於ても敎へられ、又農民あたりが冬の間に、此の手工を致して、都市に賣りに來ると云ふやうな譯で、スロイドが手工科として用ゐられて居るのであります。而して女でも矢張り鉋を使ひ鑿を使つて居ります。瑞典では女子が大學に這入れるので、現に女の教授がウプサラと云ふ大學に二人あると云ふことを聞きました。一躰に瑞典、那威は女權が發達して居りまして、歐羅巴中では恐らく最も發達したる處であらうと思ひます。又た共同教育、即ち男女一緒に教へると云ふ學校が瑞典にも那威にもあります。然し亞米利加の如くに澤山はありませぬけれども、歐羅巴に於ては、まづ例の少ないことゝて、此外伊太利て、稀にリセー（高等學校）に這入ッて居る位なものであります。共同教育を遣ッて居る所が嗹馬に往くと、矢張りあります。嗹馬は瑞典式の躰操スロイドと云ふことも、遣ッて居ります。而して一躰に北歐羅巴は人間が純朴でありまして、殊に女の子供の躰育なども、頗る佳いやうに見受けました。

英吉利は歐羅巴に於て、最も女子教育の發達した所でありまして、獨立の女子のカレージ（高等學校）がオックスフォードやケンブリッヂを始め倫敦にもありまして、高等なる教育を受けて居ります。それて英國では教育と云ふものは、私立の學校で遣るのが盛てありまして、元と小學校の如きも多くは私立であります。カレージの如きも亦、オックスフォードの大學を始め、高等の校舍といふものは、皆政府の力を藉らないで、民間の手で出來たものであります。

遊戲運動は英國民生活の一部をなして居りますので、上下を通じて運動致して居ります。女子の方でもホッケーと云ッて、鍵の手になッた棒で球を撃合ひ、さうして向うの溜りに入れたのが勝と云ふのでありますが、是れが高等女學校あたりでは盛んでありまして、高等女學校同志のマッチなどもあります。中にはクリケットなどを遣ッて居る所もあります。それから自轉車が非常に流行致しまして、女學校の如きにも、皆自轉車の置場所があり、數十の女學生が自轉車て學校の往復を致して居ります。

英國婦人は、槪して人間が上品で、一寸見ると高慢氣に思はれますけれども、交ッて見ると、なかなか親切な所があります。又英國は實業を尙ぶ所てありますゆゑ、手工が初等教育から能く行渡ッて居り、一般に實地を先にし、理論を後にして居ります。

次に太西洋を渡ッて亞米利加の方へ往ッて見ると、女子教育がまるで一變して居ります。殊に教育なるものは多數は女子が受けるので、男子は其所へ寄せて貰ッて居るやうな風に見えます。大學に於て女子が、修業し得るの外、獨立の女子のカレージがあッて、多いのは千人以上も居る所があります。又師範學校の如きも、規模の非常に大いのがあッて、紐育の女子師範學校の如きは數千人の生徒を入れて居ります。且つ先生と云ふが多くは女で、先生と云へば女を意味して居る位のものであります。それから官衙や會社の如きものを始め、學校等に於ても女子の役員が澤山居りまして、事務を執ッて居ります。

て、女子のカレージになりますと、純粹に研究的の態度を取ッて居りまして、他の國では女子に必要として居る家事の如きも之を除けると云ふ傾きて、純粹に科學的のことを務めて居ります。又た美術の方へ參ッても美術學校では女子が澤山這入ッて居て、男子よりは女子の方が多い位であります。教育上には到る所女子が侵入して居ります、而して斯う云ふ風に女子が高等の教育を受けるから、學力が男子を超過して居るのが多い。所で結婚する上に於て、良人の不足が出來て參ります。又學校で自由の生活をして居ッたのが、良人を持ッて俄かに束縛される事になるから、それを厭ふて生涯獨身で暮す覺悟の者が澤山居ります。併ながら私の考へでは、結婚といふものは女子の問題を解釋する根本的問題であるから、女と云ふ者は原則として結婚しなければ、身躰上、又精神上好い結果を及ぼさないものと信じます。從ッて亞米利加の如きは例外として、決して眞似るべきものではないと思ふ。

（未完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

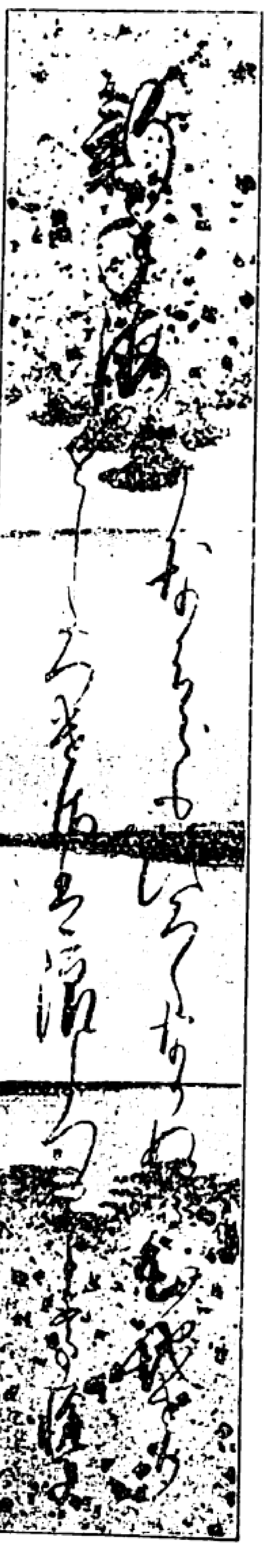
◎愛國婦人會香川縣支部發開式の辭

香川縣知事　小野田元熙

私は小野田元熙であります。荊妻安子は本會香川縣支部幹事長の囑託を受けて居りますから、荊妻より支部發會式擧行の御挨拶と、奧村女史の御紹介とを致すべき筈でありますが、病後にて、發聲することが困難でありますから、代て御挨拶並に茲に御出の本會主唱者奧村女史の御紹介を致します。

奧村女史の主唱に係る本會は只今皆樣に差上ました趣意書にもあります通り、要は軍人の遺族を助けると云ふことて、全く國家的の事業であります。此の國家的事業の爲に女史は齡六十歳以上の御老軀を以て、全國遠近を問はず、本會主旨のある所を知らしむる爲に、各所に奔走講話せらるゝことは、御同樣實に感謝に堪へません。會員の御方は申すに及ばず、傍聽に御出の御方も、普通の講話と違ひますから、奧村女史の講話は謹んで御清聽あらんことを希望致します。特に申上たいのは、各學校に敎員をお勸めの御婦人、並に師範學校女生徒並に各學校の女生徒の御方々は校長を以て御出席を願ひましたのであります。其譯は、我國も僅か三十年余にして對等條約も出來、又戰爭塲裡に於ては己に勝を占め、遂に世界の大國たる英國と同盟致すまでに進んだのであります。さうして皆樣は其國家を相續する兒童を現に精神的に敎育する大任に當らるゝ方々と、又他日師範學校卒業の後は、同じく其任に當らるゝ方々でありませう。又其他各學校女生徒の方々は、文明の敎育を受け、他日夫々一家の良妻となり、賢母となり、中流以上の地位を占め、一般の龜鑑とならるゝ方々でありませうから、奧村女史の御講話は十分に御聽き取あらんことを分て願ひます。

終に臨んて一言申すことは、此愛國婦人會の起りたることを承はりましたのは、昨年我々地方官會同の節、會長岩倉公爵夫人より華族會館に御招きに預りまして、初めて承知しました。尚其節は、福島陸軍少將其他士官方が出席して、外國の婦人方が其自國を愛する狀況を澤山御話になりました。我國に於ても此愛國婦人會は最も必要にして、且極めて美擧なることを感じ、我々同僚双手を揚げて贊成したのであります。爾來孰れも會員の募集に盡力したるものと相見え、爰に掲示してある通り、創業以來僅か二ヶ年未滿にして、己に參万人に近き會員に達しました。實に本會の爲喜ばしいことであります。當時私は宮城縣に奉職して居りましたが、仙臺には師團もありますから、一層會員募集の便利を得ました。其後公用を以て上京の節、本部に參りましたるに、皆樣も御承知の日清戰爭の節、鬼佐藤とまで雷名を轟かした佐藤陸軍少將は戰爭の時不幸にも重傷を受けられ、不具になられたのでありますが、其不具の身を以て兩杖に縋つて、本會の事務を助けて居らるゝのを一見しまして、覺えず感涙を催しました、幸ひ一地方に職を奉ずる者は、傍ら此事業を補佐せねばならぬと云ふことを益々感じまして、一層會員募集中、本年二月本縣に轉任して此事を承はりますに、會員は僅々たる數でありましたが、本縣も宮城縣と同じく師團も置かれてあり、殊に赤十字社篤志看護婦人會にては、日清戰爭の時は廣島迄も御出でになり、大いに盡力せられたる御婦人もあると云ふことで、御婦人方の氣象は他縣に多く其比を見ざるまで、慈善的思想に富んで居ると云ふことを常に承はッて居りました。殊に讃岐國は千年前に弘法大師と云ふ非凡なる人の生れたる土地柄であるから、自然の氣風が他と異なる所と存しました。果せるかな私の考に違はず、僅か數月の間に、忽ち四百人以上の會員に達しまして、玆に支部發會式を擧げ、奧村女史にも遠路御苦勞を煩はす樣になりました。是は畢竟前にも申した通り、本縣人は自然に慈善的思想に富んで居らるゝのと、幹事の御方が非常に御盡力下さッた結果に外ならざることゝ深く感謝に堪へません。將來益々本會の盛大になると否とは、一に會員諸氏の御心掛に由るものであります。どうか、此上の御盡力を切に希望致します。茲に一言を述べ以て支部發會式の辭と致します。



理事公爵夫人一條悅子筆

愛國婦人傳

松尾多世子の傳（承前）

評議員　下田歌子

斯くの如く、たせ女が志士の間に立ち交りて、力をつくすこと、此上無かりしかば、丈夫も、つねに、其及び難きを歎賞しつゝ、只管女史が助勢を悅び思ふこと深かりき。されど、げに、あごぎが浦に引く網の諺に洩るゝこと無く、久しく、世の注目の外に立ちて、しば〳〵味方を助けたりけるたせ女も、つひに、幕吏の爲に知られぬ。吏惟へらく。近來、隱謀の蹟、巧に、其影を隱し、形を埋み、又能く、遠近に、氣脈を通じて、我れらが眼を暗ましつるも理り、其か中に、婦人の同志ありけりとは、神ならぬ身の、知るよしも無かりけるこそ口惜しけれ。女だてらに、大膽無敵のふるまひ、憎さも憎し。いで〳〵瞬間に彼れがありかを探り出だして、目に物見せん。我れぞ、恩賞にあづからん。と捕吏は嚴重に示し合ぜて、たせ女、追捕のことに及びぬ。女史斯くと傳へ聞きて、打ちほゝ笑み、『わなみ、大義を唱へて、王事につくさんと、思ひ起しける日より、身は、既に亡きものと、覺悟極めしことなれば、幕吏か追捕も、更に怖ろしとも思はねども、たゞ今にして、命失はんことは、いと殘り惜しき限りなりけり。遁るゝだけは、遁れ得て、諸士が志しの達せん時を見てこそ死なめ』と思ひにければ、忽に、男裝して、同志が少年の儕の中にぞ入りぬる。斯くて後、またしばしが程は、人目の關を遮り得て、世の疑ひをひかざりければ、例の如く、甲に交はり、乙に遇ひて、密議に預り、密使を傳へぬ。さりけれども、幕吏は、早く、女史が人相書を調製して、こゝかしこに配布し、民に令し、重賞を賭して、これを求むること、ます〳〵急なりしかば、頓て、その男子に裝ひして、立ちさまよふよしをも知られつ。其當時、志士は多く、京阪の間に集ひて、竊かに、九重、雲深きあたりの大御旨を、伺ひまつらまほしく、希ふことも少なからず、將た、諸公卿に結びて、畫策せざる可らざることも多かりければ、あかねさす日の西の京、よしあしの難波わたりにぞ、幕府が捕吏は相集りて、この人々を求めにけり。さるほどに、たせ女が足を擧ぐる所、又、其身を動かす方には、いつも、怪しの者の、忍びに慕ひ來ることゝなりて、いとも危く見えたりければ、諸有志等は、ひそかに謀りて、女史をして、ひと先づ、是等が目の及ばざらん所に、忍ばせばやとぞ、議したりける。然るに、かく隙間も無く、張り渡したる網を洩れて、大海原にさし出でんこと、將た、中々に容易からず、一葉の舟にあらぬ身も、助くる楫を絕えし世の行路難、いと覺束なくて、たせ女が命の危さは、まことに、風の前なる燈火の如く、そも、いかにして、其光を全からしめんとぞ、孰れも心を惱ましける。

（未完）

◎童話（つゞき）

海軍大尉　長尾耕作

○水は澤山です

或る酒好きの人が醉はらッて川に落ち、溺れかゝりましたところを、他人に救はれて川から引き上げられました、大分弱てゐますので、興奮劑を與へやうと思ひ「貴方はウヰスキーと水を飲みますか」と問ひますと「いゝえ、有難う、水はもう澤山です、どうぞウヰスキーだけを下さいまし」と。

○手柄顏

番頭は田舍出の新參小僧に「オイ、長松、この手紙を郵便局に持ッて行ッて、郵便箱に入れるのだ。ソレ、之が切手のお錢だよ」と命じました。長松は驅け出しました。軈て息塞きとしてニコ〳〵嬉しさうな顏付で歸りまして、「番頭さん、みんなが小さな孔から手紙を箱に入れてゐましたよ、けれどもネー、私は誰れもが見てゐない間に、只てソーッと入れて來ました、このお錢を返します」と、手柄顏。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

◎家事要領（つゞき）

家庭教育

一短氣と輕卒とは大なる弱點なり。此の弱點ある人は、事に失敗し易く、成功覺束なし。されば、幼時より注意して、此の弱點なき人たらしむること肝要なり。

一何事にもよらず、能く沈勇を守り、困苦に堪へ、艱難を忍ぶ氣象なかるべからず。兒童自ら輕卒の爲に躓き倒るゝに當り、徒に之を慰むる時は、懦弱に流れしむべし。能く其の輕卒を誡め、過ちを重ねしめざる樣にすべし。

一總じて家庭教育に當る者、舐犢の愛に溺れ、其の教養姑息なる時は、兒童をして我儘の心を增長せしめ、親の命令にても、其ハ欲する所に反する時は、執拗にして從はざるに至るべし。是れ己の慾に克つと能はずして、不善と知りつゝ、自ら制するを得ざるなり。須らく監督を嚴にして克已の心を養はしむべし。

一幼時に於て、良習慣を養成すると極めて適當の時期なり。衣服飲食の質素・諸事の整頓・光陰の貴重・身体衣服の清潔・物の保存貯蓄など、其の要目なり。

一兒童に對する賞罰は最も愼重を要す。賞罰は兒童をして榮辱の眞味を悟り、善行を勵み、過失を悔いしむるを目的とす。されば家庭教育に任ずる者、一時の感情に制せられ、妄りに賞を行ひて、却って兒童をして驕慢の心を增長せしめ、或は憤怒に乘じて不當の罰を行ひ、喜悅に際して罰すべきをも罰せざるときは、恩愛を傷け、威嚴を損すべし。

一罰の種類は、輕きは譴責に止め、譴責にして其の効なき時は、別室に退け、又は外出を禁ずる等を可とす。飮食を禁じ、暗室に投ずるなどは適當ならず、殊に鞭撻等の体罰は有害無益なりと知るべし。

一家庭の內は、賞罰命令必ず一途に出でざるべからず、世には母の行ふ所を父之を打消すが如き例多し、大なる誤りなり。

◎

◎家政費目の割合（つゞき）

統計局審査官　呉　文聰

北米合衆國にて、子供のあるなしにて諸入費の入用如何を調べたるに、其結果次の如し。

子供ノ數＼一家平均費用	家賃	燃料	點燈料	衣服	雜費	食料	計
子供ナシ	弗六八・五三	弗一九・七八	弗四・八二	弗六四・五五	弗一〇七・七五	弗一七八・三九	弗四四三・三八
一子	六四・九六	二一・六六	四・五九	七七・一七	一二〇・六六	一八九・二〇	四六七・八四
二子	七六・二三	二三・三九	四・五六	八三・六四	九四・六八	二一一・一〇	四九二・八〇
三子	七五・七九	二四・四三	四・七七	九〇・一五	一〇五・八九	二二七・五六	五二八・五八
四子	七〇・九一	二四・〇一	四・六二	一〇〇・一三	九三・五〇	二三五・一二	五二八・九六
五子	七五・九五	二七・〇五	四・八〇	一〇九・一四	一〇四・九四	二三三・七二	五五四・五九
平均	七〇・八七	二二・四三	四・五七	一〇五・一五	八二・〇七	二〇六・五七	四八九・四四

此表にて注意すべきは、收入の高は子供の數と共に增加す。然るに家賃・燃料・點燈料は、子供の多少に甚だしき關係なし。食料の入費は、收入の增加より一層甚しく增加す。衣服も亦然り。蓋し子供多ければ衣服に追はるゝが故、家屋は之を構ふ暇なきもの〻如し。更に、衣食と總入費とを比例して示せは次の如し。

	衣服	食料	總費用
子供ナシ	一〇〇	一〇〇	一〇〇
一子	一二〇	一〇六	一〇五
二子	一三〇	一一八	一一一
三子	一四〇	一二七	一一八
四子	一五五	一三一	一一八
五子	一七〇	一四一	一二九

此表によれば、則ち子供のなき時一〇〇にてすむ衣服は、子供が一人あれば一二〇、二人あれば一三〇、三人あれば一四〇、四人あれば一五五、五人あれば一七〇を要す。食料も又其理窟なり。子供のなき時拾圓にてすむ食料は、一人あれば拾圓六拾錢、二人あれば拾壹圓八拾錢、三人なれば拾貳圓七拾錢、四人なれば拾參圓拾錢、五人なれば拾四圓拾錢なり。（完）

寫眞附錄の人名（寫眞面の順序）

齋藤住子　馬杉久子　廣瀨宮子　村岡久野子　伊澤千年子　廣瀨久江子

◎

勝野壽子　半井佐賀子　木下常子　三井通子　日比野政子　八田艶子　大槻綱子

◎家計收支の實況

宮城縣仙臺市　愛讀女

私は未だあまり經驗少なくて、皆樣に御目にかけるも御はづかしく存じますなれど、何卒皆樣の御批評を願ひます。此表は卅五年後半期を計算して月割にせし者にて、臨時費として少々づゝ貯金致し度も出來ず、苦心致し居ますから、割合惡き者を御教示下さるやうに願ひます、尙皆樣のを續々拜見致したう存じます。

明治卅五年後半期一ヶ月平均

一家族三人（但夫婦、妹）　一收入金四拾九圓五拾錢　俸給一月分

一支出金　四拾四圓五拾錢

一金拾五圓　國元へ送金　　一金六圓　家賃

一金壹圓五拾錢　納税金（所得税、縣市税、追加赤十字社等）　　一金貳圓五拾錢會費（月に極りて有る者）

一金壹圓五十錢　圖書費（講義錄前、後期二册 新聞二種）　　一金貳圓　交際費（切手、卷紙類、茶、菓子、酒、煙草、道物等 手前にて酒、煙草を嗜まず客に出す丈なり）

一金壹圓貳拾錢　被服費（着物、洗濯費、靴修繕其他）　　一金貳圓五拾錢　準備金

一金五圓　米代　　一金貳圓五拾錢　代（魚鳥獸肉玉子）

一金壹圓五拾錢　八百物豆腐等　　一金貳圓參拾錢（薪、炭、味噌、鹽醬油、砂糖 石油等）

一金壹圓　雜貨（湯錢、髮結、斬髮、齒磨粉の類）　　一金壹圓　雜品費（日用 小道具類）

差引殘金五圓　之は妹小使の餘な仕度金として貯金す

右の內講義錄二冊は私大日本女學會後期會員妹は前期會員なればなり

評　國許送金と準備金と差引殘金とを合すれば、收入金の殆んど半額に達す、此上緊縮の餘地なかるべし。殊に、被服費の如きは、甚だ少額なり。果して常に此平均を保ち得るや否や。

◎奧村刀自遊說日記（其二）

十二月十日　午後〇時二十分新橋停車場を發し名古屋に向ふ。

同　十一日　午前二時名古屋に着し下茶屋町鶴屋に投宿す、午前六時起床、支部幹事に向て電話を以て到着の旨を報す、皆々驚愕して止宿に集合し遂に幹事會を午後二時より赤十字社支部內（即ち本會支部內）に開くに決す。了つて知事官舍に深野幹事長を訪ひ更に縣廳に至りて深野知事及び小野木警部長に面會す。聞く所によれば當支部の現在會員は特別會員百五十五人通常會員四百八十七人贊助員七十六人合計七百拾八名なりと云ふ。午後幹事會に臨む出席者は深野幹事長、幹事後藤書記官夫人小野木警部長夫人、寺島、片野、名取、佐々木、野村、張、藤田、近藤の各夫人、松下中島の兩事務員及び赤十字社係員等にて事務主任を置く事及び會員募集の件に就て決議し一同撮影の後閉會す

同　十二日　午前八時五十分名古屋を發す深野、後藤、小野木、藤田、佐々木、野村、張、名取、片野、寺島の各夫人及び松下、中島兩事務員等見送られたり、午後二時二十分京都に着す。

同　十三日　午後一時より京都支部幹事會を開く木下三井兩副幹事長及び八田橋川齋藤綾野大槻半井廣瀨中澤山田伊澤廣瀨の各夫人等出席せられ會計報告ありて午後四時閉會せり。香川縣支部より縣屬笠井信良氏出迎として出張せられたり。

同　十四日　早朝より三井八田廣瀨の各夫人來訪午後一時支部に集會し一同撮影す（記者申す、本號附錄即ち是なり）

同　十五日　午前十時半京都を發し午後五時半岡山市に着し磨屋町吉田旅館に投宿す、笠井香川縣屬と同行なり。

同　十六日　午前十時岡山市出發、同十一時半三番港に着す香川縣支部幹事長代理として小野田知事の男元辰氏巡査一名を從へて同縣水上警察巡視船に乘して同港に出迎はれ居たり。正午同港を發し途中犬島（大坂築港石材採掘地）に立寄り午後四時高松市に着す小野田幹事長阿南副幹事長評議員土屋師團長夫人神尾、新山、石田、足立、香渡、野崎、前田、橋本、阿部、大高の各將校の夫人を始め在高松の各幹事諸氏約數十名出迎はれ、幹事樋口たか子氏邸に投ず。午後十時迄幹事長始め職員一同會談す。

同　十七日　正午より高松市內町香川縣公會堂に於て香川縣支部發會式を開く。當日の光景は別項記載の如し韓客朴永孝氏亦出席し居たり。

同　十八日　午前八時より屋島保勝會事務長並に福岡縣屬の案內にて屋島古戰場を縱觀し午後は小野田幹事長及び各幹事の招に應して栗林公園掬月亭に於ける茶話會に列す小野田知事初め各高等官縣屬及び支部職員等出席、演說了つて餘興あり、同五時半一同歡を盡して閉會せり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎愛國婦人會記事

◉評議員會 本年一月及二月中の評議員會は左の日割の通り開會す。

一月廿八日（第四水曜日）　第四の組
二月四日（第一水曜日）　第五の組
二月十八日（第三水曜日）　第一の組
二月廿五日（第四水曜日）　第二の組

◉愛國婦人會本部新年互禮會の景況 同會は豫定の如く去にし十四日、評議員總會及東京府幹事會を九段なる偕行社內に開けり。當日出席者は理事一條公爵夫人を始め、評議員子爵夫人松平保子、松平須磨子、淸浦豐子、千家俊子、杉溪茂子の各男爵夫人及岩佐德子、伊集院繁子、濱尾作子、豐島文子、高木鎌子、棚橋絢子、嘉納須磨子、中山幸子、柳谷千代子、山脇房子、山本たほ子、鄕濱子、有馬幾子、佐藤猶子、佐藏靜子、澁谷和知子、仁杉歌子、關村子、幹事には佐藤春子、笠井梅野子、薄井てい子、長谷川さい子、宇都木ひろ子、堀內ゑん子、小浦義子、花岡亨子、渡邊いね子、丸山すま子、川岸はつ子、等の諸夫人都合四十二名にして、一同席定まるや、一條理事會長席に着き、大會準備委員を會長指名にて十六名設くることを協議し。次に半期決算の概畧を報告し續いて救護人員取調方法につき協議を遂げ、終つて別席に於て會長及理事の寄贈にかゝる西洋料理の饗應あり。一同杯を擧げて新年を祝し、談笑時を移し、午後四時頃散會せり。

◉有功章贈與 本會評議員佐藤靜子中山幸子の兩氏は曩に金百圓を寄贈せられ、此程又特別指定寄附金各五十圓づゝ寄附されたるにより、七寶金色製二等有功章を贈與せり。前號の紙上に中山幸子氏に三等有功章を贈與せし樣報告せしは、本文の如く二等有功章の誤りなりし由につき、併せて正誤す。

◉熊本支部の會員數 前々號の紙上に、十二月末日調べ、會員現在表中、熊本の會員數、千四百八十七名とせしは、誤りにして、千九百三十名なり、其內譯は、特別會員三百九十二名、通常會員千九十一名、贊助會員四百四十七名のよし、正誤申込ありしにつき、玆に正誤す。

◉大會準備委員會 此程會長の指名により、左の諸氏準備委員に任せられ、來る廿八日、第四水曜日午後一時より、本部に於て、第一協議會を開く都合なり。

千家　俊子　濱尾　作子　柳谷千代子
松平須磨子　中山　幸子　高木　鎌子
山脇　房子　伊集院繁子　相馬　睦子
鳩山　春子　島田　信子　仁杉　歌子
山本たほ子　坂井はる子　佐藤　靜子
有島　幸子

◉愛國婦人會香川縣支部發會式景況 本會香川縣支部は、明治卅四年七月の創設に係り、當時未だ會員募集の計畫成らず、會務亦緒に就くに至らずして、幹事長の交迭あり爲に、會員僅十數名にして、萎靡振はざること殆と半歲なりしが、今や會務大にあがり會員五百を以て算し、尙加盟者相つぎて、前途頗る多望なり。昨卅五年二月小野田安子夫人の幹事長に任ずるや、鋭意會務の擴張を圖り各郡市幹事を督勵して大に會員の勸誘に力め、先づ會員二百名の募集を企てたるに、折柄惡疫流行の爲に、沮碍せられたるも屈せず事に當り、數月ならずして其目的を達し、玆に漸く支部の基礎確立するに至れり。乃ち發會式を擧げ、講話會を開き、洽く本會の趣旨を縣民に告げ、愈進んで大に會員を募らん事を計り、本部に具申して奧村五百子氏の派遣を請ひ、之を機として會員勸誘に努めんとせり。客年十一月二十一日岩倉會長より奧村女史を派遣すべき旨通報せられたるにより、小野田幹事長は數次自邸に幹事を招集して發會式擧行準備及び奧村女史送迎等に關して協定し、本部に諮りて發會式期日を定め、續いて各郡市講話會開會の事を議定せり。越て十二月十六日奧村女史着縣せしにより、翌十七日午後一時高松市內町なる皇太子殿下御慶事紀念として建築したる、香川縣公會堂に於て支部發會式を擧ぐ、今其景況を記さんに、先づ小野田知事は幹事長に代り一場の演說あり、（別項所載の如し）之に次いで幹事石塚千賀子外數夫人の祝詞朗讀終るや、奧村女史は小野田知事の紹介に依り登壇、北淸事變當時に於ける遭難者の狀態を詳說して愛國婦人會設立の主旨に論及し、暫時休憩（此間役員一同女史と共に撮影す）。再び開演して、朝鮮國婦人の狀況より日本婦人の覺悟せざるべからざることを警告せり。女史の講話了るや小野田知事の挨拶を以て閉會せり。當日聽衆の主なる者は同地高等官各郡市長、各警察署長、縣立學校長、僧侶、公私立學校職員、女生徒、縣郡市會議員有志者等無慮千二百餘名、會場前庭に於て一同撮影し、退散せしは午後五時過ぎにて、同縣において未曾有の盛況を呈したる婦人の集會なりしとぞ。

◉愛國婦人會熊本支部初會

去にし十二日午後一時より日本赤十字社熊本支部に於て開會せり、當日出席者は知事代理松田參事官、佐藤軍醫部長、淸田衞戍病院長、三善一等藥劑官、河內山縣屬、德永軍太、篠方典、矢毛智達、尾藤新也、戸張瀧三郎、福山正登、東新次郎、名和隆雄、田川貞記、角居一布、富長覺靜、武石形平、伊喜見文吾の諸氏會員には幹事長德久張子、副幹事長飯田政子、幹事櫻井とみ子、佐藤たが子、山本すま子、山本こと子、竹內ゑん子、戸張よし子、篠一重子、幸島たよ子、永田なを子、名和ちゝ子、鷲崎よつ子、錦織りう子、宗村あさ子、大島咲子、松山みき子、住田まさよ子、森山とく子、志水万壽子、白木ちと子、有吉さわ子、大淵とみ子等二百五十有餘名にして、一同着席了るや、知事代理松田參事官登壇新年の挨拶より、本會は國家的事業にして、最も必要なること、及如此隆盛に趣きしは偏に幹事長以下諸子の盡力なる旨を告げ。今後益國家の爲盡瘁せられ度旨の希望を述べられ、次に佐藤軍醫部長、淸田衞戍病院長の挨拶、篠方典師の講談、德久幹事長の挨拶ありて式を了る。夫れより餘興として尾藤新也氏の北淸事件の講話德久幹事長寄附の福引あり。草葉町山本氏は一同の撮影をなし、終つて茶菓を供し、午後五時散會せり。尾藤氏の講話山本氏の寫眞等孰れも本會の趣旨を贊成して寄附せられ、又目下滯在中の宮崎縣愛兒院長兵頭文平氏も、本會の趣旨を贊成せられ、率る處の音樂を寄附せられ、越後獅子六段浦島等の曲を奏して興を添へられ、又飯田副幹事長は蜜柑一俵を寄附せられ、非常の盛會なりき。因に云ふ、當日は八代郡・阿蘇郡・上益城郡等の幹事會員事務員十數里を遠とせず出席せられ、殊に阿蘇郡錦野村東新次郎同夫人東やす子の如きは兩人にて郡內の各村は申すに及ばず、隣郡內迄も晝夜を懸け東奔西走し、會員の誘導に盡力せられ、今回の初會に際し三百人餘の入會を紹介せられ、又球磨郡幹事田代をさめ子の如きは、本月三十日より球磨郡の各村を誘導の爲め巡回せらるゝとの報知あり。如此幹事諸氏の熱心盡力せらるゝを以て日に增し隆盛に赴きつゝあり。目下の會員數已に二千二百有余名に及び、會員數の多きこと、東京を除く外、今回第一等の位置を占むるに至りしは誠に國家の爲め、賀すべき事と云ふべし。

◉京都支部會の景況 同會に於ては去にし十九日午後一時より河原町共樂館に於て愛國婦人會役員會を開き、本年大會準備に就て協議し、畢て新年宴會を開き役員寄贈の品を以て福引を催したり。

◉北海道日高國本會支部の景況 北海道浦河支廳の管內なる日高國は、面積三百八十有餘方里七郡一ヶ町六十九ヶ村ありて、氣候も溫和にて水陸の物產に富むも、交通不便なる爲め、人口僅に二万に過ぎず、其內舊士人も多きを以て、會員の募集頗る困難を感ずる所なるにも拘らず、同地の幹事西久子氏の非常なる盡力に由り、舊臘十二月迄に、會員總計四百五十人を得たりと云ふ。尙同夫人の首唱により、愛國婦人會々員を以て、組織せる、日高愛國婦人團なるものを起せり。其趣意書を得たれば左に掲ぐ。

◉日高愛國婦人團趣意書

愛國婦人會々員は名譽ある人々なれば、克く其品位を保ち其天職を全ふすること、本來の主眼たれば、母たり主婦たる人々にありては、よく子女を養育し、よく家政を整理して家運を增進し、子孫の長久を圖りて常に勤儉貯蓄を旨とし、婦人のとるべき相當の手業を行ふは、最も其道を得たるものにして、また愛國の精神なり。さて其手業は數多あるが中にも、とりわけ養蠶は遠き神代の昔より婦人の手業となり來りて、特性上最も適切の事業たり。蠶兒を養ふは赤兒を育つる如くせよと聖德太子ののたまいしも宜ならずや。殊に當日高の氣候風土は頗る養蠶に宜しく、野桑は到る處にみち滿て、蠶閣を作るにやすく、蠶兒の飼育敢て困難ならずと聞く。況んや扶桑の名ある我日本帝國の婦人に在ては、豈徒に日を空して可ならめや。洵に此事業をなして隆昌ならしめば、會員の本分を盡す上に於て、裨益するところ決して鮮少ならざるのみならず、婦人の尤も勤むべき勤儉の貯蓄一端を全ふすること、極めて大ならん、是日高愛國婦人會員一團となりて此業を行はんとする所以なりとす。希くば一致率先して、養蠶に從事し、又は聲援して他を獎勵勸誘せらるゝと共に、進んで勤儉貯蓄を履行して、一は、家運を增進し、一は愛國の精神を發展して、會員たるの本分を盡されんことを祈るになん。

明治三十五年八月　愛國婦人會員　四　久　子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜歌

●歌御會始　去にし十九日午前十時宮中に於て歌御會始を行はせられたり。今當日御前に於て披講せられたる御製及び皇后陛下東宮同妃兩殿下の御歌を始め、題者點者所役の歌其他の選歌を左に掲ぐ。

新年海

御製

あつさ弓やしまの外もなみかせの
しつかなる世の年たちにけり

皇后宮御歌

いくさふねいかりおろしてあた浪も
音せぬ御代の年いはふらし

東宮御歌

船ことにしるしの旗手うちなひき
うらにきはしく年たちにけり

東宮妃御歌

としなみのたてるあしたは海原も
あらたまりぬる心地こそすれ

海軍中將大勳位功四級威仁親王
時しらぬあをうなはらも君か代とゝもにかはらぬとしたちにけり

勳一等　慰子
うらうらと朝日にほへり和田の原いかにのとけきとしのたつらむ

侍從長從一位勳一等侯爵臣藤原朝臣實則上（德大寺）
わたのはらとしたつらしもおきつ浪あらふあさ日の影あらたなり

宮內大臣從二位勳一等子爵臣藤原朝臣光顯上（田中）
よもの海なみのさわきのおともなし御代のとかなる年やたつらむ

題者　點者　樞密顧問官兼御歌所長正三位勳一等男爵臣藤原朝臣正風上（高崎）
あふきみぬ國やなからむひむかしの海よりのほるとしのはつ日を

讀師　從二位公爵臣藤原朝臣基弘上（一條）
よもの海なみかせたゝて君か代の千とせをいはふとしたちにけり

講頌　正三位伯爵臣源朝臣重朝上（大原）
としなみのたつ音はかりきこゆなりよものうな原しつかなる世は

講頌　正四位伯爵臣藤原朝臣公大上（室町）
君か代のとしのはしめをわたつみの神もいはふかなみしつかなり

發聲　御歌所參候雅樂部長正三位勳五等子爵臣源朝臣有良上（綾小路）
よもの海なみしつかなる御代にあひてあまらゆたかに年迎ふらん

奉行　御歌所參候正三位子爵臣菅原朝臣利貞上（前田）
浪風もなきうなはらにたつものはふれのけふりとしとなりけり

講頌　正四位子爵臣藤原朝臣以季上（大宮）
あさ日かけまたかすまれとあらたまの年たつ海のしとかなるかな

講頌　正四位男爵臣源朝臣文仲上（西五辻）
わたのはらやそしまかけてのとかにも年の初日そさしわたりける

撰歌　權命婦從六位中原　三枝上（平田）
みめくみのなみをかつきてあまの子も年のほき言いひかはすらし

奉行　御歌所參候正八位臣夏野朝臣鋼二上（大口）
大君のちよをかそふるとしなみはみめくみひろきうみにこそたて

講師　從五位臣藤原朝臣實麗上（滋野井）
あまの子もふなうたうたひ海幸のゆたかなるへきとしいはふらむ

撰歌　京都府平民正七位則武　正訓上
ゆたかにもあさしほみてりわたの原年のはつ日のかけをうかへて

撰歌　東京府士族根岸敎女　澄江上
あらたまの年のはしめのよろこひをたゝへたりともみゆる海かな

撰歌　愛知縣士族中野知佳上
ふしのねの雪のひかりにあけそめて年たちかへる田子のうらなみ

撰歌　兵庫縣平民大日本女學會會員　小出楢子上
うらなみにあまのよひこゑとよむなり年のはつ網やこそあるらし

撰歌　岐阜縣平民西村幸之助上
のとかにもとしたつ浦のはつあひきおもの〻網やまつかゝるらむ

撰歌　熊本縣平民北里直樹上
ふれはみなとに入りて年のたつあしたしつけき海のおもかな

●女子高等師範學校　同校本科生本年の募集人員は、各科を通じて僅に七十五人の所、各府縣より多數の志願者を出だし、其總計實に五百六十人に達したる由は已に前號に掲げたるが目下各府縣廳所在地に於て入學試驗執行中なりと云ふ。

●日本女子大學校　同校には本年四月募集すべき英文科、國文科、家政科の各本科一年及び英文豫科、並に附屬高等女學校の各學年入學志願者に對し、既に本月より願書を受付始めたるよしなるが、同校にては願書の受付順に依ッて適當なるものは入學を許す定めなるに志願者中には試驗期日間際に至り願書を提出するもの多く、昨年も夫れがため失望せしもの多かりしよしなれば、志願者は注意して機を失せざる樣つとむべし。

●東京女子美術學校　神田なる同校は其附屬事業として、日本女子講習會といふを設け、高等師範學校入學志望者をして豫修せしめたりしが、此度更に改良して、普通科は從來の如く師範學校志願者を養成し高等科は尋常本科正敎員の撿定志願者を養成する由。

●高等家政學校　女子をして高等なる家政的智識を得しむる目的を以て此程九段中阪上なる裁縫女學校內に於て表題の如き學校を設け家政學を修めしむるよし。

●選歌の一人小出楢子女史　大日本女學會々員にして本年の歌御會始の選歌に入れる小出楢子は、但馬國養父郡伊佐村五十八番屋敷に住し年齡は明治八年十二月生れなれば、廿七年二ヶ月なり。大日本女學會に入會せしは、明治三十一年一月にして、爾來同會より配布する女學講義によりて修學し、同三十四年十二月業を終へたるが、其後引續き歌文研究の爲めに設けある同會內のみやび會々員となり、歌文の研究にいそしまれしが、此度詠進歌數一万四千餘首の中より、僅に七首の選歌當選の榮を得られたるは、啻に本人の光榮のみならず、大日本女學會の名譽と云ふべし。

●同じく根岸澄江女史　東京府民にして選歌に入れる根岸澄江といへるは、豐多摩郡上澁谷村百一番地に住する根岸敬氏の第三女なり。敬氏は舊信州松本藩の醫者なりしが、維新後司法省に奉職して函館控訴院檢事たり。明治廿九年東京控訴院に轉じて間もなく退職となり、爾來澁谷に閑居す。澄江女史は函館に於て美以美敎會のカーラン女敎師が立たる遺愛女學校に入り、デガランソン女敎師の敎育を受たり。今は脊髓病の爲勉學を廢したれども、歌を好み植松有經氏に就て之を學び、年に三百首を作り、植松門下屈指の人なり。明治十一年九月に生れたれば算へ歲にて二十六歲の淑女なりと云ふ。

●高山盈子の逝去　赤十字社看護婦取締高山盈子氏は本年六十二歲の高齡にて、兼て腦神經衰弱症を憂ひ、更に本月八日丹毒を發し赤十字社病院に於て治療中なりしが、遂に廿一日逝去したり。刀自は舊伊勢津藩士岡堅兵衛氏の長女にして女の道何くれと至りふかく、明治十四年仙臺女學校の舍監となり、勤續六年女學生の風紀を一變したり。二十一年より二十七年迄學習院及び華族女學校に奉職し、實踐躬行を以て學生を稗益する所あり。其の後赤十字社に入りて看護婦取締及び生徒養成の監督となり、十年一日の如く職に盡し、其の間二十七八年戰役及び北淸事變の救護事務に從ひたる功勞を以て勳六等寶冠章を賜ひ、佛國政府よりもオフヰシエー、ド、ラントリユクシヨン、ピブリック章を贈與され、又赤十字社よりは積年の功勞に對し特別社員に列し、有功章を授與されしが、病革るに及び、陸軍大臣より左の趣意を天聽に達したるに、二十一日特旨を以て位記を賜ひ、從七位に叙せらるゝ旨御沙汰ありたり。

日本赤十字社看護婦及び同生徒監督と爲り、報國恤兵の主旨を體認して、看護婦の操行を督勵し、多年一身を軍人救護に委ね、且つ敎育上にも亦見るべきの實蹟尠しとせず、他の女子の撰範と爲すべき者なり。

●海軍下士卒集會所の近狀　海軍省に於て外國の例に慣ひ、試みに同集會所を橫須賀に置きし處、其成績大いに見るべきものあり、下士卒の風儀を矯正する上に於て、著しき成績を得たるを以て、此程吳軍港、舞鶴軍港との二ヶ所へ、同樣の設備を爲す趣にて、舞鶴の方、先きに開所する運に至るべしと云ふ。尚、橫須賀に於ては、世人の同情を得ん爲め、我奧村刀自に向ッても、來觀希望の旨、同所長より通じ來たりたり。

●大日本婦人衛生會　同會の新年初會は去にし十日虎門女學館に於て開かれ、同日は婦人共立育兒會とも合併して催したるにより、來會者も頗る多く、鍋親小松若宮妃殿下を始め、會長鍋島侯爵夫人以下二百有余名の來會者あり。毎年福引の催しありしも本年は會員多數となりしため、其計畫立たず、余興として松林伯鶴の講談あり、夫れより茶菓の饗應あり、午後三時過ぎ散會せり。尚同會に於ては本所病院看護婦へ同情を表し、金三十圓を送りたりとぞ。

●大日本婦人敎育會　同會の年始會は、去にし十七日華族女學校幼稚園に於て開き、會長毛利公爵母堂を始め、多數の出席ありて、いと盛會なりしよし。

●女子同情會年始會　同會は一月十八日午後一時憐地なる同志俱樂部に於て開會、下田歌子女史の講話ありたり。

●東亞佛敎會女子部　同部の新年會は一月十八日錦輝館に於て講師の講話ありたり。

●山口婦人會　山口縣山口町に設立せる同會は、去にし十二日山口俱樂部に於て新年會を開き、贊助員の講話及福引の余興ありたり。

●姬路婦人會の發會　姬路市に於ては、此程技藝力食婦人會なるものを設け、去にし十一日其發會式を擧けたるが、其目的は造花・飾縫等の技藝により得たる金員を慈善事業に供せんとの目的なるよし。

●會津婦人會　福島縣若松市の同會に於ては、去にし四日新年會を開き、福引の余興等ありたり。又同會附屬子守學校にても、同六日新年會を開きしが、同市に盲人大原保なる人ありて、按摩を業とするにも拘らず、金五圓を寄附し、同會の事業を助けたりと云ふ。

●長野縣松代婦人會　同會は去にし十二日夜、同會の爲めに盡力せし長幹者眞田由緒子外五名の祝賀を兼れ、例會を催せし所、參會者百五十余名あり、祝詞祝歌も數多く稿り、余興には琴、謠曲等ありて淸よらかなる會合を催したる由。

●鳥取市美德婦人會　去にし十六日同地大社分敎院に於て初會を開き、福引等の余興ありたりとぞ。

●宮崎縣延岡婦人俱樂部　同俱樂部は去にし六日宮崎市演武場に於て新年初會を開き、內藤子爵夫人を始め百卅余名の來會者あり、茶菓の饗應を受け散會せりといふ。

●奈良縣宇智婦人會　同會は同地高等女子小學校の同窓會員、及其他の婦人を以て組織せられ、同會付屬の事業として家政に要する料理法及技藝を敎授するよし。

●熊本癩病院慈善音樂會　來月六日熊本回春病院（癩病院）補助のため、麴町區番町なる英國公使館にて慈善音樂會を催ほす由、同會は小松若宮妃殿下を名譽贊助員に推戴し、鍋島侯爵夫人細川侯爵夫人戶田伯爵夫人田中子爵夫人靑木子爵夫人三宮男爵夫人白耳義國公使ダナタン男爵夫人露國公使イスヴオルスキ夫人以太利國公使メレガリー夫人英國公使マクドナルド夫人其他內外貴婦人の贊成者多しと云ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京日本橋區長谷川町
卸部 美濃磯本店
（み）
誂袴專門
小賣部 東京本郷區本郷五丁目十三番地
美濃磯支店

電話浪花二千八百五十九番
電信略号ミイソ
電話本局千四百十五番

大日本女學會會員の君だちに告ぐ

我が大日本女學會會員小出梢子の君が詠進の歌、おふけなくも撰歌に入り、宮内省より左の通り御通達を蒙りたり。

兵庫縣平民
大日本女學會々員　小出梢子

新年海
うらなみにあまのよびこゑとよむなり
としのはつあみさちこそあるらし

右本年歌御會始詠進之歌依點者之撰於御前披講相成候也
明治三十六年一月十九日　歌御會始奉行

是れひとり君が光榮のみならず、我が大日本女學會會員貳萬五千有餘人の面目にこそ。希くはいよいよ學の道をいそしみて、大御代の渥き御惠にこたへ給はんことを。

大日本女學會理事長

●女子生徒募集廣告

●本科又ハ撰科ニ欠員アリ臨時入學ヲ許ス
●裁縫編物刺繍生花茶ノ湯割烹音樂國語習字●算術作文英語其他隨意科設アリ生徒ノ監督ハ父兄ノ依頼ニ應ズ（規則郵券貳錢要ス）

東京日本橋區小舟町二ノ二
女子靜修學館

東京市日本橋區茅場町貳番地
株式會社 扶桑銀行
電話浪花（八十四番）（百十六番）

松本支店　長野縣東筑摩郡松本町
飯田支店　仝縣下伊那郡飯田町
諏訪支店　仝縣諏訪郡上諏訪町

資本金貳百萬圓

一定期預金　三ケ月以上 六分　六ケ月以上 六分五厘
一當座預金　日歩 壹錢貳厘
一特別當座預金　日歩 壹錢五厘

望見十里保險

本品（兩眼）鏡は獨逸製にして遠見鮮明なり全部ニッケル玉入にして胴皮張り堅牢優美且伸縮自由十三形三寸携帶に便なり定價三圓の處特別大割引壹個壹圓九拾錢送費全國拾錢要す破損せば無料修繕す●爲替は銀座局宛●現品實見の上御氣に入らぬ時は返戻あれ

東京銀座二東仲通（電話四七九）井上商店

本校甲種師範科入學願書差出期日ハ本年三月二十日ニ延期シ入學試驗ハ左ノ通擧行ス

自四月八日至同十日　讀書 作文 算術 幾何 歴史 地理 理科
自同十三日至同十四日　體格 國語 英語 唱歌 試問

明治三十六年一月
東京音樂學校

海軍大臣男爵山本海軍中將題字
海軍大尉長尾耕作著

海軍實話

全壹冊　四六版二百廿頁
定價金四十錢　郵税金六錢

海軍戰後の經營は略〻完成を告げたり、健忘なる國民は、凸兀山の如き裝甲艦と、快捷電の如き水雷艇とを見て、早く既に、臥薪嘗膽を唱へたるの徃時を思はざるが如し、是れ蓋し、形而下の海軍を知りて、未だ形而上の海軍を知らざるが爲のみ。抑も、海軍は死物に非ず、而して之を活動せしむるの責は、國民に在り。長尾大尉玆に見るあり、我か帝國海軍の眞情を寫して、論述するところ、縷々數萬言に及ぶ。海軍擴張を、刻下の急務とせる今日に當り、海國男兒の讀物として、最も適切なりと云ふべし。

目次

○帝國海軍力　○軍艦の種類及類別　○軍艦の兵器　○軍艦の組織及艦内の生活　○數設水雷　○軍艦廣丙の沈沒
○海軍の旗章及信號　○今の海軍々人　○海軍の服裝　○潜航水雷艇　○艦内の娛樂　○海軍々歌
○黄海の海戰　○海軍出身者指南　○海軍陸戰隊　○ネルソン逸話　○此の外寫眞及彩色圖數多挿入

發賣元　東京京橋區竹川町十三　共益商社書店　電話新橋五二九番

◎第七號　一月一日發行（每月一回一日發行）

婦人界

婦人界第七號目次

▲口繪
寺崎廣業筆石版極彩色畫―洋畫天使―景色―ベーベンスの愛兒―短冊と色紙―水車小屋―令孃鑑―宮中料理―三井と白木屋

▲婦人界
識首の辭……佐々醒雪
挨拶……
竹の園生……

▲小說
懸賞小說選定に就て……齋藤弔花
懸賞小說當選披露に就て……平尾不孤
懸賞小說 袖の露……しらつゆ
同 羽衣敎會……内山幸子

▲論說
娛樂問題……
娛樂と音樂……鳩山春子夫人談
同……東京音樂學校教頭上原六四郎氏談
娛樂と遊戲……華族女學校學監 下田歌子氏談
平和と娛樂……文學博士 井上圓了氏談
露西亞婦人の娛樂……正教學校教師 瀨治恪三郎氏談
家庭の娛樂……德富猪一郎氏談
佛蘭西人の娛樂……フランソワ・サラズエン氏談

▲家庭
他の家庭に於ける妙齡女子の生活……元高等商業學校長 寺田勇吉
家庭敎育に於ける乳母の地位（續）……文學博士 松本愛重
高家の子守歌……加島汀月
兎の園遊會……在大學 田中素郎
宮中三日の御獻立新年料理
扇芳亭……岩間芳松氏談
初春料理……八百善 栗山善四郎氏談

▲社會
婦人の半面
毛利公母堂安子夫人……茅原蘭雪
明治三十五年の婦人界……羽仁もと子
工女の新年……横山天涯
貴女の粧ひ
洗衣裳携帶品……礫川生

▲附錄雜纂
勇ましきエールス夫人（上）……野田まづま
落潮記（二）……齋藤弔花
新春の歌……三木天遊
門松の風……綠桂園
福壽草……綠山隱士
春のくさ〳〵……井上折山

▲内外時報外數件

◎定價一冊に付金貳拾錢 郵税貳錢 ●七冊前金壹圓四十四錢 ●十四冊（郵税共）前金貳圓七拾八錢

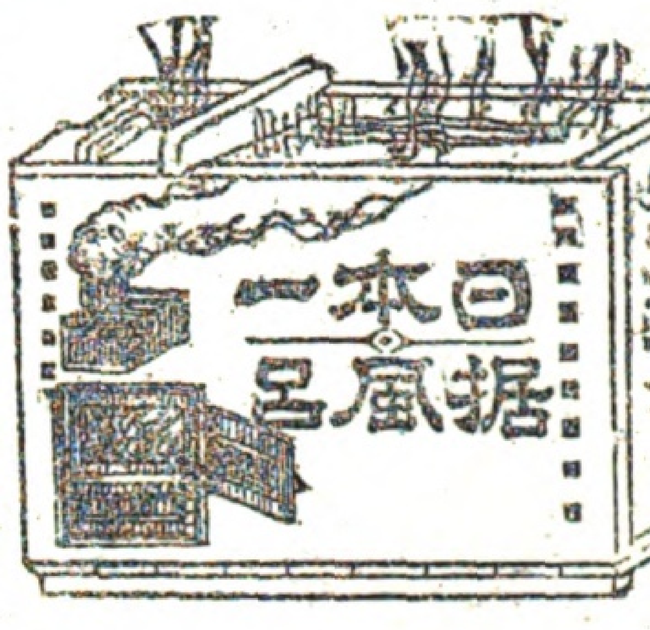
發行所　東京本町　金港堂書籍株式會社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治三十六年一月廿五日發行（毎月十日廿五日二回）
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

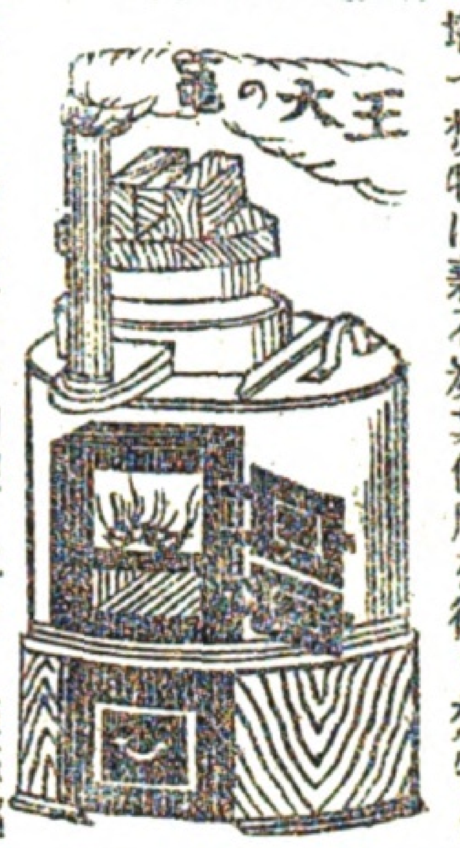
◎特約販賣店
◎東京堂　神田區表神保町三番地
◎東海堂　京橋區銀座四丁目

陸海軍醫科大學御用



總檜木製並ニ入入銅製改良新石炭燃早沸釜付上り湯付種々其外何人入にても出來合有之又桶風呂も有り改良早沸釜丈にても定價に販賣仕候間續々御求願上候

●此の外湯屋旅店料理店用釜各種出來有之候



此の竈は是迄世間にありふれたる鑄鐵鑄物製造の粗製品と違ひ總鋼を以て堅固無比の製造にして永久の保存に堪へ焚物は薪石炭其使用を得て焚物を減じ僅に廿分間に飯が出來銅壺の湯は同時に沸き又釜を下せば如何なる鍋にても掛くることを得る尚出來合ひの竈とは違ひ煙は一切煙る事なく至極輕便にして日用經濟の大王なり●圖面細表は郵券二錢送れ進呈す

定價　圖面の釜を除く外一切附屬付三升焚廿一圓四升焚廿六圓中五升焚三十二圓六升焚四十五圓此外にも種々あり

製造發賣元　銅器物問屋　南部鐵瓶販賣　石川商店　日本橋大門通油町十九番地　電話浪花一四六一

目　半ゑり帶揚類　御題摸様

○紋附頭巾地○下締め○帛紗○帶止○前掛○雀形
○ゑり治形　まげ入　元祖御小賣

三大醫先生實驗有効證明　高等化粧用洗粉
顏肌美白洗劑　チエリー　ヴワイオレツト麝香入
定價　大瓶三十錢　小瓶十二錢
新橋竹川町十二　發賣元　本舗　ゑり治
電話新橋二〇二七

帝國貯蓄銀行　銀座一丁目河岸通り　電話新橋八一六番

本郷一丁目　本郷支店
飯倉四ツ辻　飯倉支店
赤坂表一丁目　赤坂支店
四谷大通り　四谷支店
南品川一丁目　品川支店
横濱吉田町　横濱支店
牛込神樂坂　神樂坂支店
神田須田町　須田町支店
兩國米澤町　米澤町支店
淺草雷門前　吾妻橋支店
代理店　日本橋坂本町　田中銀行

●一錢以上何程にても御預り致し御便利に取扱申候
●毎月五日迄の御預け金は全月分の利子を付け申候

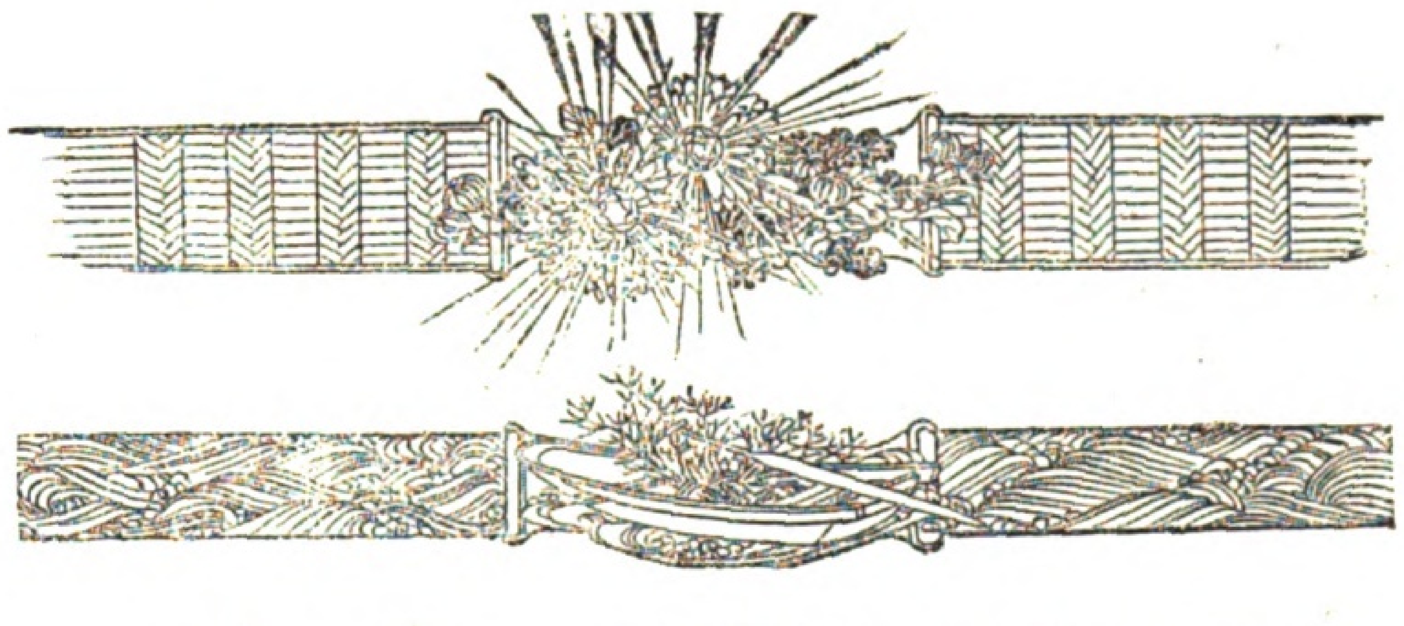
正四位勳三等醫學博士三宅秀先生著
大日本女學會發行
家事衛生
總クロース綴ぢ金文字入り菊判二百四十頁定價金六十錢郵税金六錢
此書は文部省學校衛生顧問元醫科大學部長なる三宅博士が文部省の囑託により講義されたるものなり書中に衣服食物住居育兒看病の五篇ありて我國一般の民度に應じ何れの家にても實行に差支なき樣懇切に說示されたる世に類なき家庭主宰者の寶典なり
大賣捌所　東京神田區一橋通町七　有斐閣

專賣特許竈

製造發賣元　日本橋區蛎殼町二丁目　名和商店
神田區松永町十八　和泉橋　名和支店

愛國婦人廣告取扱
神田區千代田町　博報堂　電話本局一四四番
京橋區尾張町　弘報堂　電話新橋八五一番
京橋區八丁堀中町　一星社
日本橋區上槇町　万年社　電話本局一一二五

貴金屬金具附帶締



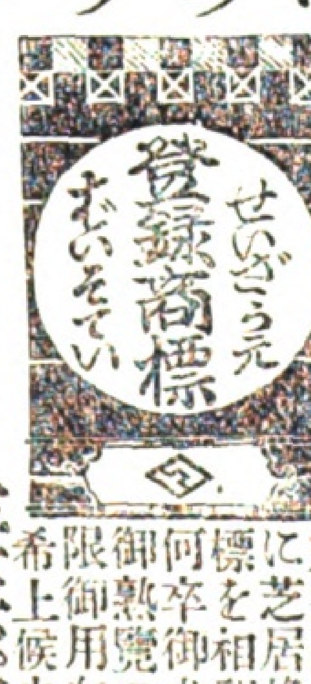
金具は金又は白金銀赤銅朧銀を以て草木花實鳥虫魚其他高尚なる圖案に基き諸名工の彫刻せし物或はダイヤモンドルビー眞珠其外諸寶石を嵌入し金は二禰錦朱珍緞古代打等凡て模樣打方まで意を込めし優美なる製作なり
○金製金具付正價　十五圓より　五十圓迄
右等は金性及彫刻寶石玉の確なるを保證致す爲一品毎に證明書を添付す
○赤銅及銀臺其他定價三圓より八圓迄

東京市南傳馬町二丁目　白牡丹　大西榮輔　電話本局三十番

大日本女學會發行
しらぬひ
一月十五日發刊
第三卷第一號目次
《卷首筆蹟口繪》公爵母堂毛利安子筆、英國婦人エム、マクリーン孃肖像《論說》歐米女子敎育の現況、下田文學士○女子と社會の進運、正木直彦《學藝》和書解題、喜田文學士○漢書解題、丸井文學士○日本名媛批評、下田歌子○涉史餘話、津田黄昏○音樂階梯、森ゑづか○作文批評、今泉定介《修身》歐洲女德變遷史、本田增次郎《齋家》點茶、松浦伯爵○家計費目の割合、吳文聰○家計收支の實況○各地の特殊料理《世務》法制談、岡戶論介○經濟談、伊藤秋南○各地産業の實況《史傳》ナポレオンの母、吸江《譚艸》兎の吸物、月廼舍かつら○姑御樣、岸本柳子《詞藻》新年の詞、本居文學博士○田家の梅といふ事を題にてかける文、木村文學博士○田邊和氣子日記○みやび會員詠進の歌《雜錄》養蠶の話、長岡哲三○刺繡、木村仲子○婦人論梗槪《彙報》內外要報十數件
毎月一回十五日發行
毎號紙數菊版百四十頁
定價金拾五錢全國無遞送料
大賣捌　神田表神保町三　東京堂　京橋銀座四一一　東海堂　神田一橋通町七　有斐閣　京橋鍋屋町六一三　北隆館

水原産科婦人科病院
○所在神田區猿樂町十二番地《電話本局千八百〇九番》○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立産婆學校の設置あり

全國有名小間物店にあり



東京淺草區黑船町
梅素亭謹製

名題洗粉は皆々樣の御引立に依り益々盛大に相成難有仕合に奉存候然るに近來諸方に名題洗粉の摸造品澤山顯はれ候に付弊舖製造品には袋の裏面に芝居梅形の登錄商標を相印し御座候間何卒御求の節は篤と御熟覧の上多少に不限御用向の程偏に奉希上候也

定價　壹袋壹錢　罐詰五錢

（電話浪花二千二百二拾四番）

發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄
發行所　大日本女學會內
印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN